



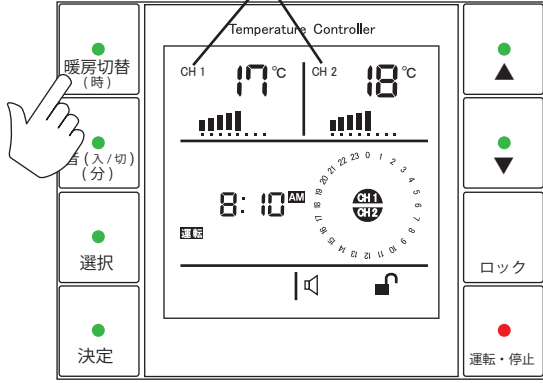
# 6 暖房切替

・暖房床面の切替え方法  
暖房切替ボタンをタッチすること  
CH1→CH2→CH1+CH2の順に暖房床面が切替わります

独立暖房の時は、CH1 CH2 表示が点滅  
同時暖房の時は、CH1 CH2 表示が点灯

・独立暖房と同時暖房の切替え方法  
暖房切替ボタンを7秒ほど長くタッチすると  
独立暖房と同時暖房を切替えられます  
(初期設定は独立暖房です)

予約タイマー運転設定の方法は2枚目です



**独立暖房？同時暖房？**

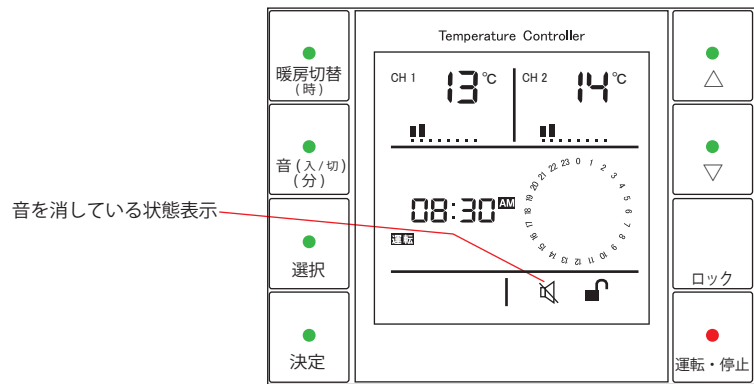
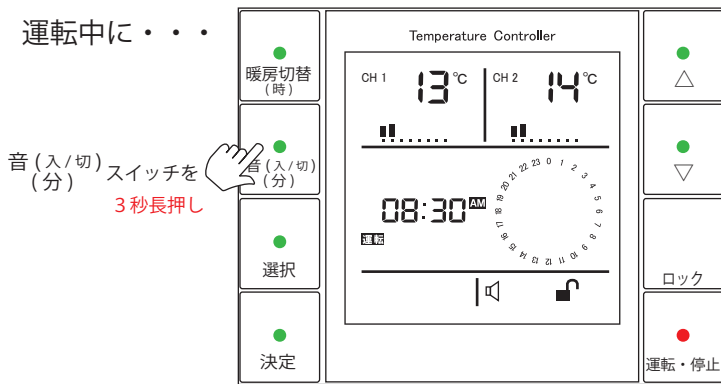
独立暖房中は、温度設定も、予約タイマ時刻設定も  
両 CH へそれぞれ別々に設定できます

同時暖房中は、温度設定や予約タイマ時刻設定が  
両 CH に対して同時に行われます

同時暖房中でも、暖房切替えボタンをタッチすること  
CH1 だけを暖房、CH2 だけを暖房、両 CH を暖房、のよう  
に切替えられますが、例えば CH1 は 4.0℃、CH2 は 3.5℃  
のように設定するには、独立暖房へ切替える必要があります

# 7 動作音のオン・オフ

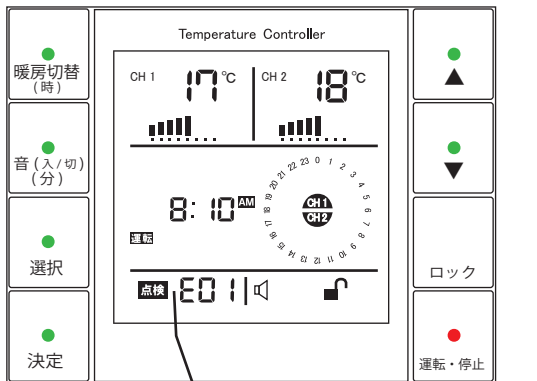
運転中に・・・



3秒長押しすること、音を消したり  
鳴らしたりを選択する

# 8 エラー表示一覧

点検が必要な異常をエラー表示とアラーム音でお知らせします



点検 が、点滅して隣にエラー表示  
アラームは鳴り続けます。  
運転スイッチをタッチすると止まります

エラー表示	アラーム音	異常原因	対応
E01	ピピピ…(連続)	CH1 のセンサー断線	センサー交換
E02	ピピピ…(連続)	CH2 のセンサー断線	センサー交換
ES1	ピピピ…(連続)	CH1 のセンサーショート	センサー交換
ES2	ピピピ…(連続)	CH2 のセンサーショート	センサー交換
RO1	ピピピ…(連続)	CH1 のリレーオープン	製品交換
RO2	ピピピ…(連続)	CH2 のリレーオープン	製品交換
RS1	ピピピ…(連続)	CH1 のリレーショート	製品交換
RS2	ピピピ…(連続)	CH2 のリレーショート	製品交換
Oht	ピピピ…(連続)	回路保護用のコントローラ 内部センサーの過熱感知 (80℃以上)	製品交換 (5~10 分間電源OFFして から再起動して下さい。 施工場所の密閉状態を 確認下さい。)
RtH	ピピピ…(連続)	リレー加熱の時の 温度ヒューズ断線 (115℃)	製品交換

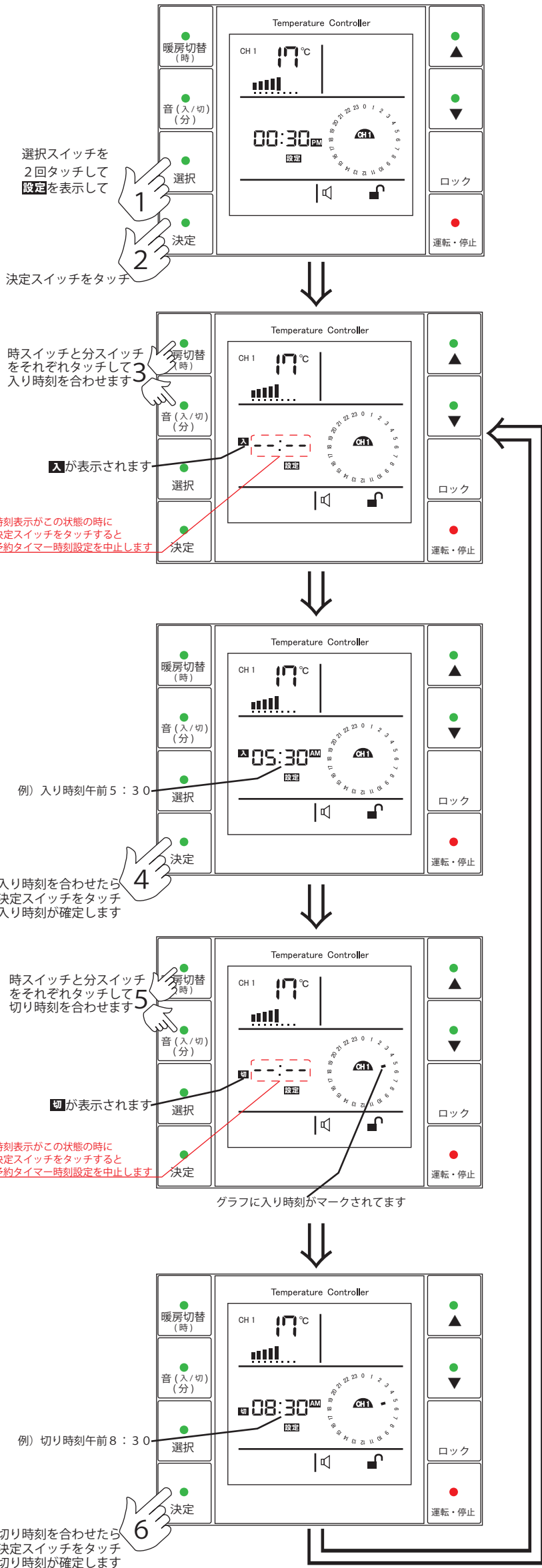
# 9 仕様一覧

区分	項目	UTH -JPC 1特性	機能 (性能)
定格	定格入力電圧	100 VAC ~200V AC	安全装置 センサーの断線、ショート 断線の場合 (E01, E02) ショートの場合 (ES1, ES2) : 負荷の電源供給は自動に遮断。 過熱防止センサー (コントローラ内部) コントローラ内部の温度上昇を点検して設定した温度になると電源は遮断されてアラームに鳴る。(手動復帰でOFF/ON します。) リレー開閉数の確認 長時間リレーON・OFF による寿命を確認 (10万回)して交換可能。 リレー加熱温度ヒューズ リレーから高温 (115℃)が発生するとヒューズが切れて過熱保護。 【RtH】の表示とともにアラームします。 リレーOPEN、ショート 過電圧、過電流などによってリレーの接点がOPEN、またはショートされると【RO】【RS】の表示とともにアラームします。
	周波数	50Hz・60Hz	
	駆動方式	電子式	
	消費電力	約2.76W (DC12V・230 mA)	
	回路数	2回路	
負荷	容量	CH1:12 A (最大:15 A)、CH2:12A (最大15 A) (抵抗性負荷)	
	出力電圧	100VAC ~200VAC (入力電圧と同一)	
	接点定格容量	16A、250VAC (抵抗性負荷)/回路当たり	
表示画面	ディスプレイ	8色カラー-LCD	タイマー 予約回数 最大3回/1日 (1回 ON/OFF を1周期にする。)
	時間精密度	週間最大偏差 ±1分 (0~30℃)	時間設定単位 1分
	温度精密度	±1℃ 30秒当たり1℃変化条件 (delay option:20秒)	消忘れ防止タイマー 6時間で自動停止
	接点方式	リレー (OMRON:G5AC -1A-E)、両切り方式	
	接点寿命 (電氣的)	10万回以上250VAC、16A/回路当たり	
センサー	種類	NTC (Negative Temperature Coefficient)	その他 外部ケース ABS VH810 UL94 V -0 (難燃性) 重さ 330 g 寸法 116 (W)×120 (H)×25 (D:埋設部分) 大気温度・湿度 (使用条件) -10℃~50℃、35℃のときに85% 以下
	精密度	1%	
	25℃の定格定格	5,000 ohm、Beta constant=4、000	
	数量	CH1 CH2 の温度感知用	

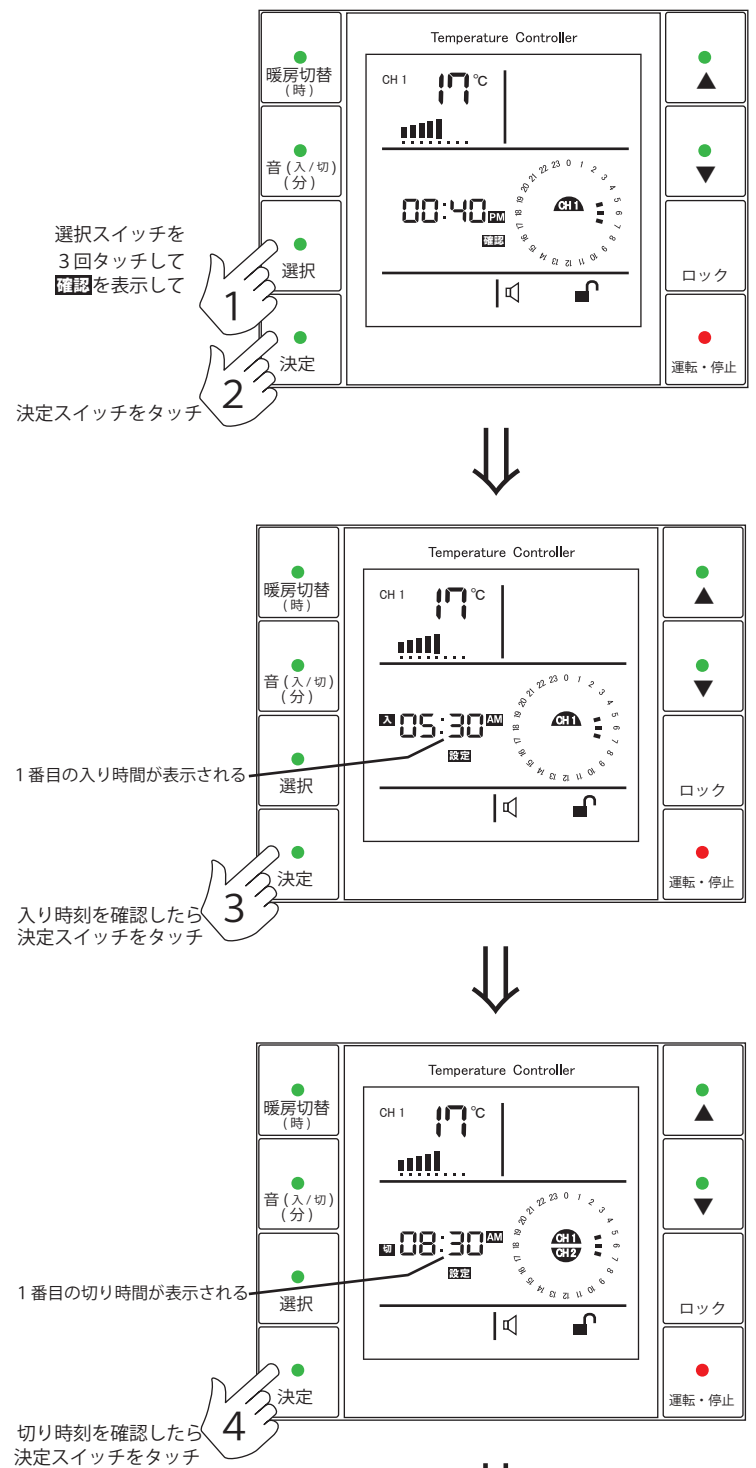
# 予約タイマー運転

予約タイマーを設定して、お好みの範囲の時間帯だけで運転することができます  
設定時刻は1分単位で決めることができ、日に3回設定できます

(以下の操作例は独立暖房でCH1への午前5:30~午前8:30までを設定しています)



# 予約時間の確認方法



以降、決定スイッチを押すたびに2番目以降の入り/切り時間が交互に表示されます  
3番目まで設定している場合は、3番目の切り時間表示後に決定スイッチをタッチすると確認モードが終了します

または、時刻表示が『--:--』の時に決定スイッチをタッチした場合も予約時間の確認モードが終了します

CH2の予約時間を確認するには、CH2へ切替えてから、上記の通り行ってください。

独立暖房モードでは、CH1とCH2へそれぞれ予約タイマー運転時刻を設定できます  
その場合、まずは設定したいCHを暖房切替ボタンで選択してから、予約タイマー運転時刻設定をしてください。

また、独立暖房モードで、両CHともに同じ予約タイマー運転時刻に設定するにはCH1への時刻設定を終了したあとに、暖房切替ボタンでCH2を選択してからCH1と同様に時刻設定をします

両CHへは、それぞれ3回ずつ設定できます

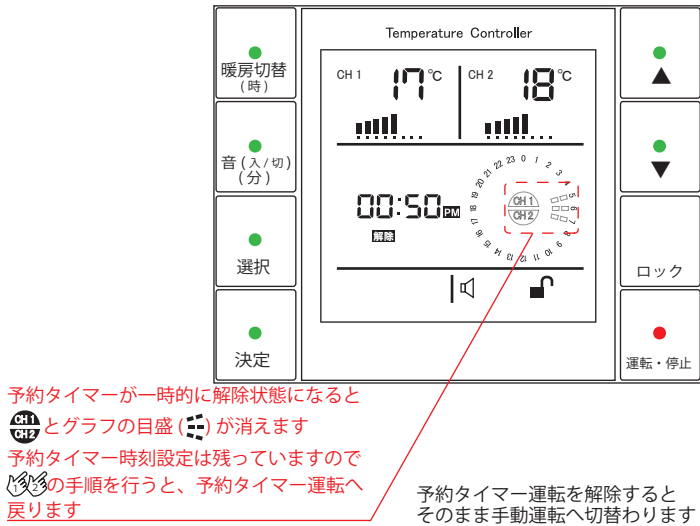
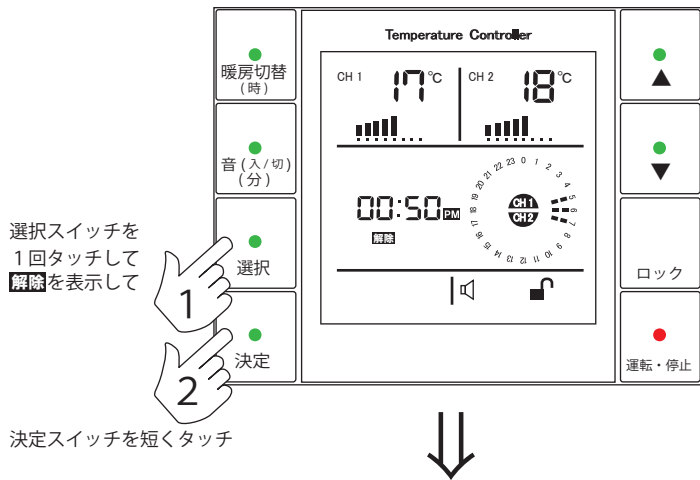
独立モード中に、両CHへそれぞれ違う予約タイマー運転時刻を設定したあとに、同時暖房モードへ切替えた場合は、CH2の予約設定は破棄されて、CH1の予約タイマー運転時刻で動作します。

この流れで、再び独立モードへ切替えても、CH2の設定はCH1と同じ設定のままです  
CH2の設定を変えたい場合は、再びCH2へ切替えてから設定する必要があります

1回目の切り時間を確定させると、2回目の入り時間設定になります  
③~⑥の手順を繰り返すことで、日に3回分の予約タイマー設定ができます  
3回目の切り時間を確定させると、予約タイマー設定モードが強制的に終了します

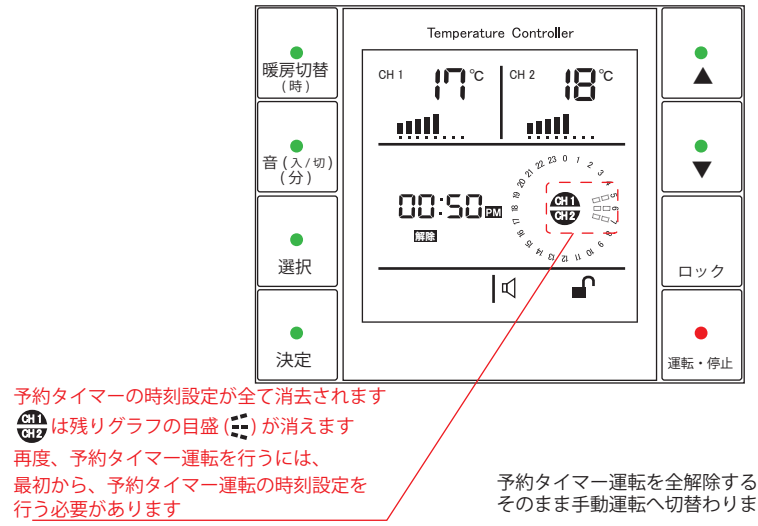
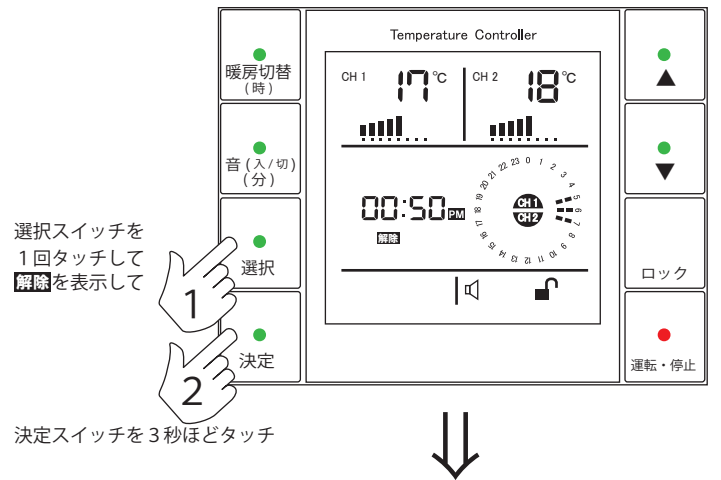
# 予約タイマー運転の解除

~~~~~一時解除の方法~~~~~



一時解除の場合は、両CHともに一時解除となります。個別に一時解除できません。

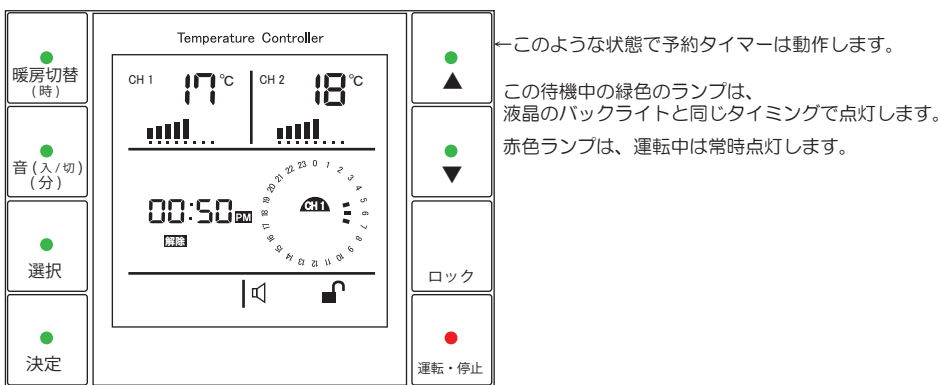
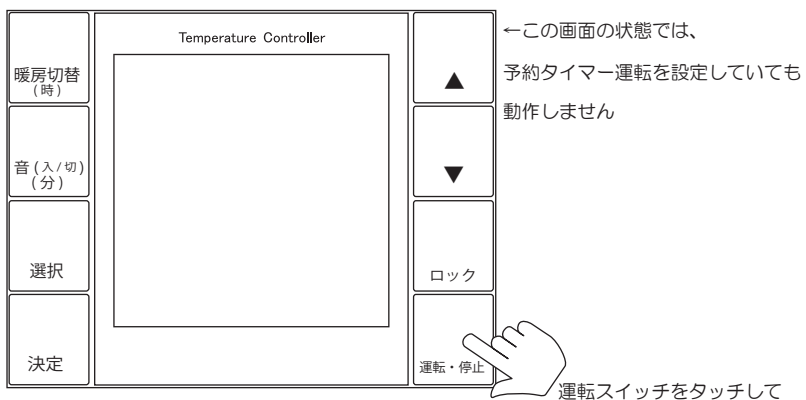
~~~~~全解除の方法~~~~~



全解除の場合は、CHごとに個別に全解除出来ます。  
全解除したいCHへ切替えてから上記の通り操作すると、片方のみを全解除して全解除側だけ手動運転になります。

# 予約タイマー運転の注意事項

~~~~~待機状態の注意~~~~~



# 消し忘れ防止タイマー

手動暖房開始後6時間経過すると、コントローラは自動で暖房をオフにします。

~~~~~予約運転中の手動運転~~~~~

予約運転中は、予約運転が優先されるため、緑ランプが点いている状態でも、ヒーターは通電しません。

予約運転を解除すると、手動運転になります  
予約運転時刻が設定されているあいだは、常に予約運転が優先されますので、手動運転をしたい場合は、その都度予約運転を解除する必要があります

~~~~~予約運転中のロック~~~~~

予約運転中にロックをかけても予約運転は機能します